

第4期保土ヶ谷ほっとなまちづくり(地域福祉保健計画)素案への 意見募集実施結果について

第4期(令和3年度～7年度)保土ヶ谷ほっとなまちづくり(地域福祉保健計画)の策定にあたり、区民の皆さまから素案への意見を募集しました。このたび、意見募集の実施結果をまとめましたので御報告いたします。

1 実施概要

(1) 実施期間

令和2年11月16日(月)から12月15日(火)まで

(2) 周知方法

ア 素案冊子・リーフレットの配架(31箇所)

区役所(福祉保健課、区政推進課)、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、地区センター、コミュニティハウス、地域子育て支援拠点、親と子のつどいの広場、ほどがや市民活動センター アワーズ、岩間市民プラザ 等

イ 素案リーフレットの配布(343団体)

自治会町内会、連合自治会、地区社会福祉協議会、医師会、歯科医師会、薬剤師会 等

ウ 訪問(30団体)

連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、商店街 等

エ その他

保土ヶ谷区ホームページ、広報よこはま保土ヶ谷区版11月号

2 実施結果

(1) 意見総数

総計 263件(前回:112件)

(2) 提出された意見への対応と件数

| 項目 | 意見数 |
|--|-----|
| 計画に反映するもの 【主な御意見】 ・「8050問題」を取り上げてほしい ・児童虐待の未然防止に関する取組が少ない | 23件 |

| 項目 | 意見数 |
|---|-------|
| <p>意見の趣旨が計画（素案）に含まれているもの</p> <p>【主な御意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の健康教育の充実が必要 ・福祉保健の問題を地域の中で共有していくことが大事 | 15 件 |
| <p>計画（素案）に御賛同いただいたもの</p> <p>【主な御意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に見ると、心温かな取組が増えている | 25 件 |
| <p>計画の推進の参考とさせていただくもの</p> <p>【主な御意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「できることを できる時に できる範囲で」としての参加は、働いている人でも参加しやすくなる ・再雇用が終わる前に、趣味を見付けたり、事業を知ったりする機会が必要 | 106 件 |
| <p>その他</p> <p>【主な御意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、店舗利用客の確保が課題 | 94 件 |

【参考】主な御意見と対応

1 計画に反映するもの

| 意見 | 意見に対する対応 |
|---|---|
| 子どもたちに対する取組が希薄。児童虐待を未然に防ぐための取組はほとんど書かれていない。 | 児童虐待の防止につながる内容も記載していますが、さらにわかりやすくするため、児童虐待防止の取組（p. 14, 85）や、子育てしやすい地域づくりを進める取組（p. 85）を追記します。 また、課題認識として明確にするため、第1章2「(2) 社会状況の変化」に「児童虐待」の文言を追記します（p. 5）。 |
| 「8050 問題」を取り上げてほしい。 | いわゆる「8050 問題」も課題認識として明確にするため、第1章2「(2) 社会状況の変化」に「8050 問題」の文言を追記します（p. 5）。 また、第2章「見守り・支えあい」の取組では、いわゆる「8050 問題」も十分意識しながら、制度の狭間や、複数の分野にまたがる課題にも対応できるよう、関係機関との連携した取組などを進めていきます。（p. 13）。 |
| 「情報」はテーマ1～3すべてに共通する内容であると思うので、あえて「担い手づくり」に組み込む必要はないのではないか。 | 必要な人に必要な情報が届いているまちは目指すために、テーマの1つとしています。 御意見を踏まえ、他のテーマを支える土台となることを追記します（p. 9）。 |
| それぞれに必要な情報を届けることが重要であり、そのためには、それぞれの世代がどんな媒体から情報を主に入手しているかのデータなどがあると参考になると感じた。 | 令和元年度に実施した区民アンケートに、地域活動の情報を得る手段に関する項目があります。紙面に限りがあるため、アンケート結果のサイトにアクセスできる二次元コードを掲載します（p. 91）。 |

2 意見の趣旨が計画（素案）に含まれているもの

| 意見 | 意見に対する対応 |
|---|--|
| 介護を家族内の問題から、地域の問題に変えていく仕組み作りを計画に盛り込んでほしい。 | 第2章「見守り・支えあい」の取組に記載のとおり、地域の方々と、医療・介護の関係機関などが参加する会議などを通じ、個別支援の充実、地域課題の発見・ |

| | |
|--|--|
| | 解決に取り組んでいきます。 |
| 地域の健康教育の充実が必要。 がん検診の必要性を訴えかけることが必要。 | 第2章「いきいき健康」の取組に記載のとおり、関心を持ってもらうための情報発信、健康づくりの機会の拡大などの取組を進めていきます。 |
| 福祉保健の問題を地域の中で共有していくことが大事。 | 第1章2「(3) 第4期計画へ引き継ぐこと」に記載のとおり、地域の福祉保健に関することを我が事として捉え、ほっとなまちづくりに関わる人を更に増やしていく必要があると考えています。そのため、3つのテーマの1つとして情報を取り上げ、必要な人に必要な情報が届いているまちを目指し、取組を進めていきます。 |
| 計画の認知度を上げることが必要。 | 第4章のコラム『保土ヶ谷ほっとなまちづくり』を広く知ってもらうために」にあるとおり、認知度向上に向け、様々な工夫をしながら取組を進めていきます。また、今回の意見募集をきっかけに新たに広がった周知先とも連携し、計画確定後に改めて周知をしていきます。 |

3 計画（素案）に御賛同いただいたもの

| 意見 | 意見に対する対応 |
|-----------------------|---------------------------------|
| 全体的に見ると、心温かな取組が増えている。 | いただいた御意見の趣旨も踏まえ、計画を着実に推進していきます。 |

4 計画の推進の参考とさせていただくもの

| 意見 | 意見に対する対応 |
|---|---|
| 区全域で行うシンボリックな取組があると良い。 | いただいた御意見は、関係機関とも共有させていただき、計画を着実に推進していく際の参考にさせていただきます。 |
| 活動の裾野を広げていくためには、様々な活動団体で、各委員にまで計画の内容が伝わるような働きかけが必要。 | |
| 「できることを できる時に できる範囲で」としての参加は、働いている人でも参加しやすくなる。必要な人 | |

| | |
|--|--|
| <p>数やお手伝いの内容などの情報発信が事前にあると良い。</p> | |
| <p>再雇用が終わる前に、趣味を見付けたり、事業を知ったりする機会が必要。</p> | |
| <p>困った時や何かしたい時に、具体的な案内ができる場所がわかるような、手引き本のようなものがあると良い。</p> | |
| <p>障害者は地域で孤立しやすく、必要な情報が得られなかったり、仲間に入れてもらえなかったり、緊急時に支援を得にくい現状がある。障害者に広く周知でき、地域の一員であると実感できるイベントが開催できれば、安心感が増すのではないか。</p> | |

5 その他

| 意見 | 意見に対する対応 |
|---|----------------------------------|
| <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、店舗利用客の確保が課題。</p> | <p>御意見を受け止め、今後の参考とさせていただきます。</p> |
| <p>丘陵地で移動が困難であるため、町中にエレベーターかエスカレーターを設置し、動線を確保してほしい。</p> | |